

令和4年(ネ)第1675号 「結婚の自由をすべての人に」控訴事件
控訴人 控訴人1 外5名
被控訴人 国

証拠説明書26 (甲A号証)

2024年6月12日

大阪高等裁判所第14民事部B3係 御中

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 大畑泰次郎

同 弁護士 寺野朱美

同 弁護士 三輪晃義

同 弁護士 山岸克巳

同 弁護士 佐藤倫子

同 弁護士 宮本庸弘

同訴訟復代理人 弁護士 森本智子

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪高裁)・第6回期日(2024年11月13日)に提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成 年月 日	作成者	立証趣旨
甲 A701	「国際法」(抜粋)	写し	2020.3. .27	岩沢雄司	人権条約が定める履行確保制度として、個人通報制度、国家報告制度、一般的意見／一般勧告等が、国連機関に関するものとして、普遍的定期審査、特別手続等があること及びそれぞれの内容、ヨーロッパ人権条約、米州人権条約などによる地域的人権保障のあり方、日本における条約の国内的効力、国内適用可能性等。
甲 A702-1	オリアリほか対イタリア ヨーロッパ人権裁判所判決(要約版・原文)	写し	2015.7. .21	ヨーロッパ人権裁判所	ヨーロッパ人権裁判所が、オリアリほか対イタリア事件において、同性カップルは法制度による保障をうける利益を有していること、法制度の構築は同性カップルを受容する社会の意識を醸成することなどから、国レベルの法制度が構築されていない当時のイタリア法の現状を、ヨーロッパ人権条約8条に違反すると認定したこと等。
甲 A702-1	オリアリほか対イタリア ヨーロッパ人権裁判所判決(要約版・訳文)	写し	2022.2. .20	弁護士加藤丈晴	同上。
甲 A703-1	米州人権裁判所の勧告的意見 OC—24／17(全文・原文)	写し	2017.1. 1.24	米州人権裁判所	米州人権裁判所が、コスタリカの諮問をうけて提出した勧告的意見において、同性カップルが、同条約11条2項の家族生活の尊重をうける権利を享有する関係性であることを認めた上で、同性カップルの法制度の構築にはある程度の裁量の余地が国家に認められるとしても、無差別・平等という国際人権法の基本原則から、登録パートナーシップ制度などの別の制度を設けることは原則として差別にあたり、あくまで過渡的に必要な限度において正当化されうるとし、既存の法制度、すなわち婚姻を同性カップルに認めることこそ、国家に課せられた積極的義務の履行のために簡潔かつ効果的な選択であると判断したこと等。
甲 A703-2	米州人権裁判所の勧告的意見 OC—24／17(抜粋・訳文)	写し	2022.2. .21	弁護士加藤丈晴	同上。
甲 A704	「米州人権制度の研究—米州人権委員会と米州人権裁判所の挑戦とその影響」(抜粋)	写し	2021.2. .5	齊藤功高	同上。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪高裁)・第6回期日(2024年11月13日)に提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成 年月 日	作成者	立証趣旨
甲 A705-1	自由権規約 2 条に 関する一般的意見 3 1 「規約締約国 の一般的法的義務 の性質」 (原文)	写し	2004. 5 . 26	自由権規 約委員会	自由権規約委員会の一般的意見が、規約上の義務について、すべての締約国を全体として拘束するものとし、特に司法府の役割について、規約の直接適用、規約と同等の権利を保障する憲法またはその他の国内法規定の適用、あるいは国内法適用の際の規約の解釈指針としての効果を例示していること等。
甲 A705-2	自由権規約 2 条に 関する一般的意見 3 1 「規約締約国 の一般的法的義務 の性質」 (訳文)	写し	不明	滝澤美佐 子 富田麻理	同上。
甲 A706	論点探究 憲法 [第 2 版] (抜粋)	写し	2013. 6 . 15	小山 剛 駒村圭吾 編 (齊藤正 彰執筆部 分)	憲法解釈においても、国際人権条約は解釈指針としての効果を有し、憲法解釈に複数の可能性がある場合に、可能な限り、国際人権条約に適合的なものを選択するという意味での、憲法の条約適合的解釈を、憲法 9 8 条 2 項は要請していること及び憲法よりも国際人権条約の保障の方が広がったり、詳細である場合には、国際人権条約の規定の内容を、解釈を通じて憲法の内容に取り込むことも考えられること。